

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	観光型旅館（経営者）	それ以外	・今までのように新卒の採用もうまくいかず、パート、アルバイト、派遣社員等の従業員も雇いにくくなっている。それだけ勤め先が増加している。
		通信会社（支店長）	競争相手の様子	・各社とも番号ポータビリティの導入による新商品効果と宣伝・マスコミ報道による客の動きがある。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・来客数が増加している。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来客数は前年を上回っており、予約も非常に早い時期から確保できている。
	変わらない	商店街（代表者）	それ以外	・最近、大型の空き店舗の跡地に、県外資本からの買収の打診が多く見られるようになっており、地価が底打ちとの認識が出てきている。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・最近3か月は、以前活発であった高額品の動きが低調である。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数、売上高共に前年同月を下回っており、特に、ファッション関連商品の落ち込みが目立っている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・単価は低下傾向であり、野菜が非常に安値になっているため、売上高が伸びていない。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・毎週特売チラシを投入しており、先週は来客数が多かったのですが、特売に力を入れたところ来店客が減少した。客の動きはつかみにくく、月単位で見れば変化は見られない。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・トラベルフェア、コートフェア等でコート、ジャケットを前面に打ち出しているが、コートに少し動きがあるものの、ジャケットは昨年と比べて不振であり、全体として前年同期を下回っている。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・今月は新型車が発売になり期待していたが、あまり影響はなかった。来客数も発売週は増加したが、その後の変化はない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ガソリン価格は少し落ち着いてきたが、軽四以外の新車の販売量は伸びていない。
		乗用車販売店（管理担当）	来客数の動き	・新型車が発表になったが、カタログを取りに来る客は少ない。
		その他専門店〔CD〕（店員）	販売量の動き	・販売量はその月に発売される商品によって変わってくるが、全体的な傾向としては大きな変化はない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・週末以外の来客数、特に夜の来客数が極端に少なくなっている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・秋の行楽シーズンは、個人・グループの1泊旅行の申込は順調に推移しているが、団体旅行の申込は昨年より減少している。年末年始の旅行相談客は例年どおり来店している。海外旅行ではソウルへの集客が多く、東京への航空券は前年比プラスで推移している。
		タクシー運転手	単価の動き	・秋の行楽シーズンの売上は例年より少なめに推移しており、貸切予約も期待できない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月はアビリンピックなどのイベントが開催され、全国から人が集まってきたため人の動きがあった。また、お遍路のシーズンに入るため仕事も増加している。
		観光名所（経営者）	来客数の動き	・今年に入り、来客数は前年比で毎月10%程度減少している。
	美容室（経営者）	単価の動き	・前年同月のデータと比べると、客単価が若干低くなっている。	
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・10月中旬に商店街内の食品スーパーが閉店した影響で、来客数が大幅に減少している。今後、日用品がない商店街では厳しい状況が続く。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・相変わらず消費者は値段に左右されており、他よりも少しでも高い物があれば売れないのが現状である。地方の一般小売業はますます厳しい時代になっている。

		スーパー（予算担当）	お客様の様子	・10月に入っても、最高気温は25度近くまで上がっており、冬物衣料の動きが悪い。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・新店舗が増加し、競争が激しくなっているため、どの店でも販売量は前年度を大幅に割り込んでいる。立地条件などの良い店でも現状維持がやっとであり、業界全体では厳しい状況である。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・10月は衣替えの季節であり、軽衣料品や冬物のアウター商品も含めて動きが活発な月であるが、気温が高いことと春先にオープンした大手量販店の影響もあり、商品の動きが低調である。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・以前と比べ、薄型テレビやDVDレコーダーの動きが悪くなっている。
		家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が前年同月比で、5%程度減少している。説明には納得しても、購入時期を伸ばしたいという客もおり、購買意欲の低下が目立っている。
		タクシー運転手	単価の動き	・今月は金曜日、土曜日の週末の動きが特に悪く、人数、回数、実車率、1人当たりの単価も悪くなっている。
		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・下半期に入り、一段と競争が激しくなっている。単価は下がったままであり、業界でのリストラは恒常化している。
	悪くなっている	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・先月に引き続き、飲酒運転撲滅運動の影響を受けて、料飲店への業務用販売が低調である。生ビール、ワイン、清酒、焼酎他、全酒類が大幅に減少しており、業務用のマイナスを店頭販売でカバー出来ていない。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・少しでも安い店で買おうとする客が増加しており、店を使い分ける客が増えている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・10月は新型車の発売ということで、新型効果を期待していたが、あまりの悪さに大変ショックを受けている。
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・旅行業に携わっているが、シーズンとはいえ宿や交通機関の予約が全く取れないという日がある。
		繊維工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・一頃は低価格のもののみを求める得意先が多かったが、最近では品質も重視し、価格一辺倒ではなくなっている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品の受注が増大し、生産が忙しく間に合わない状況である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・輸出用機械メーカーのコンベア関係や搬送用機械の引き合いが、県外からも来るようになってきた。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・大型クレーンの総需要は19か月連続で前年超となり、需要の上回りが常態化し、納期の長期化傾向が続いている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・依然として、鉄鋼関係の受注は堅調である。また、最近ではメーカーの潜在能力（総合的信頼性、開発能力など）に対する選別の目が厳しくなっている。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・7月の家庭紙の一部値上げにより前倒し出荷が集中したため、荷動きが低調に推移している。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・県の主要産業である建設・土木業者の受注はほとんどなく、厳しい状況が続いており、また、卸・小売業ともふるわない。
	やや悪くなっている	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・大型案件がなく、小口案件をこまめに拾っているが、カバーできず、受注残高は前年同期を大きく割り込んでいる。
	悪くなっている		○	○
雇用 関連	良く なっている		—	—
	やや良く なっている	学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・最近1、2か月の動向として、採用者数が増加している。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	それ以外	・現在は、一般事務系の案件の数が非常に減っており、販売及び営業職の仕事が増加している。
		人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・派遣求人数は例年とほぼ変わっていない。また、その受注動機も欠員補充がほとんどであるため、被雇用者の数は大きく変わっていない。

	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求人は増加しているが、求職者も増えており就職率には変化がない。
	民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・企業側の採用計画はほぼ充足傾向にあり、企業側の採用条件のハードルが高くなっている。また、採用試験から合否が出るまでの期間が長くなっている。
やや悪くなっている	—	—	—
悪くなっている	—	—	—